MEIJI GAKUIN UNIVERSITY

明治学院プラチナカレッジ



2026年度
特別講座

Road to HAKONE

—中村匠吾氏とともに箱根路を目指す 明治学院大学の挑戦—

2027 1/29 [fri] 18:30〜20:00

2026年4月、東京五輪代表として陸上界の第一線で活躍してきた中村匠吾氏が、明治学院大学陸上競技部長距離ブロック監督に就任しました。今回の講座では、マラソンや駅伝で強さをみせてきた中村氏が、勝負の舞台裏や名将たちからの教え、明学の監督就任への想いを語ります。また、陸上競技部部長の黒田美亜紀副学長とともに、今年度の箱根駅伝予選会を振り返り、激闘のリアルや今後のチーム強化方針を明かします。さらに、明学だからできることや明学の魅力を紐解き、「Road to HAKONE 2030」に向けた未来へのロードマップを提示。ゲストには駒大陸上部OBのアスリート芸人・M高史氏を迎え、突っ込んだ質問で会場を熱く盛り上げます！

明学陸上部の新たな挑戦を、ぜひ間近で体感してください。



中村 匠吾
（明治学院大学 陸上競技部（長距離ブロック）監督）

1992年三重県生まれ。上野工業高校（現・伊賀白鳳高校）時代に全国高校駅伝へ3年連続出場。駒澤大学では出雲・全日本・箱根の大学三大駅伝すべてで1区区間賞を獲得。卒業後は富士通に入社し、2019年MGC優勝、東京2020オリンピック男子マラソン日本代表。競技活動と並行して早稲田大学大学院スポーツ科学研究科で学び、2026年3月修了。同年4月、本学陸上競技部長距離ブロック監督に就任。

自身の競技経験とスポーツ科学の知見を生かし、競技力と人間性を育むチームづくりに取り組む。



黒田 美亜紀
（明治学院大学 陸上競技部長）

副学長。法学部教授。専門領域は民法、特に成年後見制度。大学では、学部の民事法入門・民法総則・成年後見法制・演習等を担当。2008年に本学着任、2010年より陸上競技部部長（顧問）。

身体を動かすことと自然が大好きで、以前は山岳マラソン（トレイルラン）に熱中していた。現在も時間をみつけて、近所の里山その他を楽しく走っている。走った後のお風呂とビールが何よりの楽しみ。課外活動も学生生活の大切な一面との信念でサポートしている。



M高史
（アスリート芸人 現状打破応援隊長）

1984年生まれ。中学・高校時代は陸上部（長距離）。駒澤大学陸上競技部ではマネジャーに転向、主務を務める。卒業後は知的障がい者施設の生活支援員として約5年勤務。2011年12月より「ものまねアスリート芸人」に転身。マラソンランナー川内優輝選手のモノマネなどで注目を集める。マラソン大会のゲストランナーやMCの他、保育園、学校、障がい者施設、高齢者施設への訪問、講演、執筆、ラジオ配信、大会ライブ配信実況など活動は多岐にわたる。「M高史の部活訪問」で全国各地の中学、高校、大学へ伺い、陸上競技への恩返しの活動を続けている。

受講料 無料

会場 明治学院大学 白金キャンパス 3号館 3201教室
会場へのアクセスの詳細は右記QRコードよりご確認ください。

定員 200名

申込方法 事前申込制 Webサイト上のお申し込みフォームまたはE-mailより、お申し込みください。

お問合せ 明治学院大学 社会連携部 社会連携課
〒108-8636 東京都港区白金台1-2-37
TEL：03-5421-5247（平日 9:30〜11:45 / 12:30〜16:00）
E-mail：mpc@mguad.meijigakuin.ac.jp

お申込みはこちらから

MG 箱根駅伝2030 募金